

ITシロウトが REDMINEと在宅ワークについて考えてみた

- 1、今、自分が実現してみせたい事
- 2、シロウトが考えるREDMINEとは①：普通のヒトが欲しいもの
- 3、シロウトが考えるREDMINEとは②：分かってきたこと

2020年5月23日 redmine.tokyo あいちゃん2号

あいちゃん2号の自己紹介

•経歴

- ・某輸送機器メーカーに新卒で入社（転職する根性無く気が付けば〇〇年目）
- ・総務業務からスタート
 - ⇒開発管理業務（図面管理部門）⇒製品開発試作チーム（部品手配）
 - ⇒総務(人事系)⇒経理G r
 - ⇒予算管理G r：リソース(ヒトモノカネ全部)管理
- 現在：業務推進チームに所属にてシステム開発を行う

•Redmine 歴（たぶん4年目）

- 出会った当時はエクセルを多用・・・webって何？HTML？SQLって何？
- プログラミングは未だに出来ない・・・コードは書けない（嗜む程度）
 - ⇒ググって(パクって)自分らしくカスタムする能力に全振り

•性格/趣味

- ・新しい物好き⇔コツコツ出来ない
- ・昔はモータースポーツにハマる（今はバイク）
- ・SNSはやってない※最近slackを超絶駆使(ドヤア)
- ・所属コミュニティ：なし



1、今、自分が実現してみせたい事

【とあるブログに大共感】

- 日常業務は、Teams でのチャットや打ち合わせ
- REDMINEでの進捗確認／情報共有で、全てまかなう



ただ、きちんと記録を残す仕事は Redmine のチケットに移行
(正直 Teams は後で情報を探すのには向かない)

そして夏は高原 (コミケに行かない)
冬は南の島 (コミケに行かない)
春はスタバで (以下略)
秋はリモートオフィス ()

、、、、という働き方も夢じゃない!



もしかすると、
今なら許されるんじゃない・・・?

2、シロウトが考えるREDMINEとは①：普通のヒトが欲しいもの

【普通のヒトが欲しいもの】

●何が欲しいのか自分でも分かっていない●



絶対的革新的な天元突破できるツールが欲しい

(人は誰しも最短ルートで仕事を終わりたいのを望んでいる)

【求められるモノ＝4次元ポケット】

どこでも、だれでも、最短で仕事が片付く便利なモノが欲しい

・・・自宅であっても、新入社員であっても、
誰もが効率よく仕事を終わらせたい



2、シロウトが考えるREDMINEとは②：分かってきたこと

【分かってきた事】

①進捗という情報は、みんなで作り上げるモノ

②REDMINEは『心臓』である

↓

↓ ●“手足”=ツール（エクセルもパワポその他巷に溢れているサービス全部）

↓ ●“血液”=情報（課題や進捗、成果物そのもの）

↓ ●“動力源”=人間（のモチベーション）

↓

適切に適度に情報（血液）を送り出す事で、プロジェクトという“生物”が活動できる

・・・だからプロジェクトが生存できる（炎上しない、死なない）

3、シロウトが考えるREDMINEとは②：分かってきたこと

【分かってきた事】

③ただし情報は“鮮度”が命

- ・・・情報が古い（ドロドロ血液）のままでは、プロジェクトはすぐにゾンビ化する

データの鮮度を保つには、
いつでも、どこでも、動ける“心臓”が必要



【実現したい事】

- 場所を問わずに、いつでも、どこでも使える環境を構築する●



ご清聴
ありがとうございました。